令和５年度　学校経営要綱　　コミュニティ・スクール　since2019

新宮町立新宮東中学校

Ⅰ　学校経営の基本構想

（１）学校経営の基盤

①　関係法規に則り、関係教育施策（新宮町「かがやきプラン」等）に基づく教育の実現

②　不易の教育理念や目標に加え、令和の日本型学校教育の構築を目指した教育活動の実現

③　これまで培われたよき校風と伝統の継承と、CS を基盤とした社会に開かれた学校づくりの実現

（２）学校経営の理念

①　生徒たちに、よりよい教育を提供することの追求

②　職員の仕事に対するやりがいと働きやすさの追求

（３）校訓及び学校の教育目標

【校訓】

学（がく：知）
絆（はん：徳）
鍛（たん：体）

【学校の教育目標】（令和４・５・６年度）

しなやかな知性と感性を兼ね備え、諦めることなく粘り強くやり抜き、
住み続けられる郷土“しんぐう”を地域と共につくる生徒の育成

（４）学校の教育課題

ア　日常の努力を持続し、諦めることなく粘り強くやり抜く力の発揮

イ　多様性を受容し、他者を尊重し、つながりを大切にして協働できる人権感覚の涵養

ウ　郷土“しんぐう”への愛着を持ち、地域の絆の一員となる自助・共助の力の伸長と発揮

（５）学校の経営課題

ア　自助・共助の力を育む防災教育の更新と、防災教育の視点に立った授業づくりの再構築

イ　誰ひとり取り残さず、生徒の主体性を引き出す新宮町中学校スタンダードの継続と発展的改善

ウ　しなやかさと粘り強さを育む組織的・協働的な教育活動・業務の推進と働き方改革の両立

（６）目指す生徒像（「東中の矜恃」：目指す「学びの達人」像）

（学）共に学び合い、共に問題を発見・解決し、夢や新たな価値を創造し続ける生徒

（絆）違いを認め合い、助け合い、仲間との心の繋がりを深め合う生徒

（鍛）自助・共助、郷土“しんぐう”の発展を、逞しく、しなやかにやり抜く生徒

【校区として１５年間で育む力】

諦めることなく、粘り強くやり抜く力

（７）目指す教師像（東中教職員の矜恃）

（学）教育の専門職として、自分自身が、探究的な学びを、主体的に追求する教師

（絆）誰ひとり取り残すことなく愛情をそそぎ、厳しさと優しさを兼ね備えた教師

（鍛）地域や保護者の期待に応え、郷土“しんぐう”の未来を担う人財を大切に育む教師

（８）目指す学校像

（学）「東中生の矜恃」の実現を目指す、共に知性・感性を鍛える学校

（絆）多様な生徒・教師・保護者・地域が安心・安全に繋がり、共に学び成長する学校

（鍛）校舎内外が常に整備され清潔感があり、共に安全文化を構築する学校

2　本年度の重点

（１）本年度の重点目標

粘り強くやり抜く力を発揮し、多様な仲間を尊重しながら、協働する生徒の育成

（２）重点目標達成のための経営の重点

【重点１】自律的・協働的な学習を促進する防災教育

①　学びの共同活動に基づき、防災の視点に立った授業改善の継続

②　生徒の自律的な学びを促す学習活動の充実

・挑戦の時間の充実　・スケジュールノート　・AI ドリルの活用

【重点２】人権感覚を磨き、実践力を高める人権・同和教育

①　いじめゼロ宣言を核とした生徒による主体的な活動の構造化と強化

②　言葉の文化と多様性を重視した道徳・特別活動の継続

・言葉、多様性、協働性の向上　・生徒による自主的ないじめゼロの取組　・小中連携による取組の強化

【重点３】多様な教育ニーズに応じた支援の充実を図る生徒指導・特別支援教育

①　生徒の自立支援に関する体制づくりの再構築と支援の個別化・学習の個性化の促進

②　特別支援学級における協働的な学びの強化

・オレンジルーム及び特別支援学級の支援体制　・授業体制の再構築　・ICT の利活用の促進

【重点４】縦と横のつながりを強める生徒会活動・CS 活動

①　横断的かつ縦断的なリーダー指導の強化

②　コロナ禍での安全・安心に配慮した CS 活動の段階的推進

・学校行事等におけるリーダー指導　・総合的な学習の時間における CS 活動　・地域活動への参加

【重点５】ウエルビーイングの実現を目指す働き方改革

①　OODA ループを活用した即時性を高めた学校働き方改革の推進

②　部活動の地域移行に係る諸取組の推進

・プロジェクトチームの設置　・意識改革　・業務改善　・部活動の負担軽減

（３）経営の重点に係る主な評価指標

経営の重点	評価指標	実績
防災教育	生徒アンケート「課題解決に自分から取り組む」⇒3.4 以上 がんばりカード取組期間中の学習時間 ⇒3 学年：240 分、1,2 学年：180 分以上	
人権・同和教育	いじめアンケート「いじめ責任はいじめる側」⇒全学年９０％以上 教職員自己評価⇒3.4 以上	
生徒指導・ 特別支援教育	QU アンケート学級満足群の割合⇒全学級１学期から向上 教職員自己評価⇒3.5 以上	
生徒会活動・ CS 活動	生徒アンケート「人の役に立つ人間になりたい」⇒3.5 以上 生徒アンケート「地域や社会をよくするために考える」⇒3.0 以上	
働き方改革	毎月の電気代⇒R4 年度以下 教職員自己評価⇒3.2 以上	

3　本年度の経営構想図

校　訓
学（がく：知）
絆（はん：徳）
鍛（たん：体）

学校の教育目標（令和４・５・６年度）
しなやかな知性と感性を兼ね備え、諦めることなく粘り強くやり抜き、
住み続けられる郷土を地域と共につくる生徒の育成

経営理念
① 生徒たちに、よりよい教育を提供することの追求
② 職員の仕事に対するやりがいと働きやすさの追求

【教育課題】
○日常の努力を持続、粘り強くやり抜く力の発揮
○多様性受容、他者尊重、つながりを重視し協働できる人権感覚の涵養
○郷土“しんぐう”愛着、地域の絆となる自助・共助の力の伸長と発揮

【目指す生徒像】
【学】新たな価値を創造し続ける生徒
【絆】仲間との心の繋がりを深め合う生徒
【鍛】逞しく、しなやかにやり抜く生徒

【目指す教師像】
【学】探究的な学びを主体的に追求する教師
【絆】厳しさと優しさを兼ね備えた教師
【鍛】未来を担う人財を大切に育む教師

【目指す学校像】
【学】共に知性・感性を鍛える学校
【絆】共に学び、成長する学校
【鍛】共に安全文化を構築する学校

【経営課題】
○防災教育の更新、防災の視点の授業づくりの再構築
○生徒の主体性を引き出す新宮町中学校スタンダードの継続と発展的改善
○組織的・協働的な教育活動・業務の推進と働き方改革の両立

本年度の重点目標
粘り強くやり抜く力を発揮し、多様な仲間を尊重しながら、協働する生徒の育成

重点１　防災教育
①防災の視点に立った授業改善
②生徒の自律的な学びを促す学習活動

重点２　人権・同和教育
①いじめゼロ宣言を核とした生徒による主体的活動の強化
②言語の文化と多様性を重視した道徳・特別活動

重点３　生徒指導・特別支援教育
①生徒の自立支援に係る支援の個別化と学習の個性化の促進
②特別支援学級における協働的な学びの強化

重点４　生徒会活動・CS 活動
①横断的かつ縦断的なリーダー指導の強化
②コロナ禍での安全・安心に配慮した CS 活動の段階的推進

重点５　働き方改革
①OODA ループを活用した即時性を高めた改革の推進
②部活動の地域移行に係る諸取組の推進

行事等
・シェイクアウト
・引渡し訓練
・修學旅行

総合的な学習の時間

ICT の利活用の促進　環境教育の推進　積極的な教育環境整備　信頼される学校づくり

町「かがやきプラン」　令和の日本型学校教育育　校風・伝統、CS